



## 令和3年6月本会議質問に登壇

### ● 誰もが使える行政のデジタル化の推進を求めました

国が進める行政のデジタル化は、私たち名古屋市民にも大いに関係があります。

これまで住民票や出生届、印鑑証明などの手続きには原則本人が役所に出向き、本人確認や面倒で慣れない書類に必要事項をすべて記入する必要がある、同じ役所内でも扱う局が違うだけで同様の書類を書かなければならず、4月などの繁忙期には順番待ちのために長時間待たされるため、時間の確保も必要です。

また、役所内の事務連携も複数個所にわたり、その都度確認作業を行わなければならないなど、市民と役所の双方に時間と手間を費やしています。

行政のデジタル化は時間や曜日などを超越し、市民が申請や給付などのためにわざわざ役所に出向く手間を無くし、市民の負担感を大幅に軽減するための取組みです。若いだけでなく高齢者にも使いやすくなったスマートホンの普及に合わせ、誰もが簡単に操作できることを目指したサービスの構築を求めた質問を致しました。

併せて、紙の印刷など無駄が多い点の改善でもデジタル化は大いに寄与するのであり、名古屋市にデジタル化への早期整備を求めたところ、今後の市民サービス向上を目指して行政のデジタル化に向け、早急な対応をしていくとの回答を得ることができました。

### ● 脱炭素社会の実現に向けた提案をしました

地球規模で気候変動による大雨や竜巻、大型台風、気温40度を超える熱波の襲来や異常低温などの異常現象が私たちの生活や命を脅かしています。

この原因の一つとして、増えすぎたCO2により地球に与える影響が問題視され、地球温暖化対策として国では「地球温暖化推進法」が策定され、「2050年カーボンニュートラル宣言」を基本理念として法律に位置付けられました。

これを受け各地方公共団体に実行計画が定められ、太陽光などの再生可能エネルギーの利用促進などの具体的な取り組み目標が義務付けられました。

私は、名古屋市がごみ焼却工場が取り組んでいるCO2を出さず焼却熱を電気に変え利活用していることをバイオマス発電として持続可能エネルギーと位置づけ今後も取り組むべきであると質問。これに対し、焼却工場の更新時に最新技術を導入したバイオマス発電の拠点として整備し、脱炭素社会の実現を目指していくとの答弁を引き出しました。



こんばのぶお

検索

市政に関する情報などを発信しています。

こんばのぶお公式ウェブサイト

<http://konba.net/>



<https://www.facebook.com/komeinagoya.komba>



